キャラクター名
猫田 陽

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ ブラックドッグ	ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	清掃員
オプショナル		年齢	24	性別	男性
覚醒	感染	衝動	吸血	初期侵食率	40 %
出自	貧乏	経験	技術畑	邂逅	自身

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	5	1	0	3		9
感覚	1	0	0			1
精神	1	0	0			1
社会	1	0	0			1

HP	39
行動値	-1
(非装備時)	1
戦闘移動	6
全力移動	12

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志		5	調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
素手猫パンチ	白兵	11r+1	15			ブーストアーマーにより肉体+2、侵食値+2

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
ブーストアーマー		15		-2	【肉体】【感覚】【精神】の判定ダイス+2、メジャーアクションを行った場合侵蝕値+2
上記+竜鱗		45			竜鱗のLV上がるごとに+10

合計装甲：	60	合計回避：	0

所持品	
コネ(UGN幹部)	
思い出の一品	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
オズワルド・S・R・ターナー	P	N		
同僚	P 慈愛	N 恐怖		
敷島あやめ	P 同情	N 隔意		
猫くん	P 感服	N 不快感		
	P	N		
	P	N		
秘密兵器	P	N		

最大財産P: 4	残り財産P： 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
ハンティングスタイル	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果： 戦闘移動を行う。この移動では離脱を行える。								
軍神の守り	1	2	オート	至近	自身	自動	1ﾒｲﾝ1	
効果 :ダメージロールの直前に使用。あなたはカバーリングを行う。このカバーリングによって行動済みにはならず、行動済みでも使用可能。1メインプロセスに1回使える。								
竜鱗	3	3	リアクション	至近	自身	自動	-	
効果： 装甲値を+Lv*10。他の防具と重複する。他のエフェクトと組み合わせることはできない。								
電磁障壁	1	2	オート	至近	自身	自動	1ｼｰﾝ1	
効果： ガードを行う際宣言する。ガード値を+4Dする。1シーンに1回まで。								
魔獣の咆哮	3	4	オート	視界	単体	自動	-	
効果： 対象が判定を行う直前に使用。判定ダイスを-Lv個する。								
加速装置	1	1	セット	至近	自身	自動	-	
効果： ラウンドの間、行動値を+Lv*4する。								
眠れる遺伝子	1	-	常時	-	自身	自動	-	
効果： 猫になるよ!								
至上の毛並み	1	-	常時	-	自身	自動	-	
効果： 触ってみなさいよ…すごい毛並みだから。								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

猫田　陽（ねこだ　よう）

元UGNの研究員。
同僚のミス…もとい、それに見せた生体実験によりキュマイラのオーヴァードとして覚醒する。
当時は優秀な科学者であったが、覚醒の際に脳に異常をきたし、急激にIQが下がってしまった。
錯乱が顕著であったため一時は廃棄を検討されたが、ブラックドッグの能力を持つ実験体の猫と接している際は安定していたため同時管理された。
しかし実験の際に暴走を起こし、安定剤である猫を食い殺すという事故を引き起こす。
再度破棄が検討されたが、猫の能力であるブラックドッグの能力が覚醒していることが確認される。
一時はウロボロス能力者との期待が高まったが、以降そのような能力は発揮されなかった。逆に非常に安定したクロスブリードとなる。
科学者としては用済みだが、任務に支障なしと判断されUGNエージェントとして再利用されたという流れ。

現在はそそっかしくも人助けをしようと頑張っている。
簡単に言えばいい大人がいい子をしてる。
人を疑う能力がごっそり削げ落ちた代わりに、危険を感じるものにはおびえる。キュマイラの勘が全面的に出てきたというところだろうか。
自分の今の力は人を助けるために必要であるし、純粋にありがたいと思っている。天国の猫を想いきつい改造も受けている。
ただ戦いの際の自分の醜い姿は嫌悪している。